

# III 業績

## 1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告（Web版）に掲載した事項

発表年月	内 容	掲 載 箇 所	提 供 者 名	所 属
R 4. 5	兵庫県播磨灘海域で麻痺性貝毒により毒化したマガキの減毒特性	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 5, 33-42	宮原一隆・妹背秀和・堀部倭子・中桐 栄・大石賢哉・岩佐隆宏・吉岡直樹・押部智宏・荻田堅一・及川 寛	水産環境部ほか
R 4. 6	兵庫県但馬沿岸域における規格外野菜を用いたムラサキウニの養殖方法	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 5, 43-49	梶原慧太郎・大野泰史・佐藤洋加・齋藤公司・山下正晶	水産増殖部ほか

## 2 外部に発表した事項

### (1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
R 5. 1	水産研究のフロントから 全国水産試験場長会	日本水産学会誌 89(1), 79	平石靖人	
R 4. 8	大阪湾・播磨灘におけるイカナゴ生活史モデルの開発－低次栄養段階生態系モデルとの統合－	海洋理工学会誌 27(1), 15-30	丸尾哲平・反田 實・田口浩一・市川哲也・橋口晴穂・今尾和正	
R 4. 5	Modeling the life cycle of four types of phytoplankton and their bloom mechanisms in a benthic - pelagic coupled ecosystem	Ecological Modelling 467, 109882	相馬明朗・今田理久・西川哲也・渋木 尚	水産環境部ほか
R 4.11	Ecopath with Ecosim モデルによるイカナゴ資源の栄養塩・温度依存性の解析	土木学会論文集 B2 (海岸工学) 78(2), I_895-I_900	屋敷朋也・西川哲也・相馬明朗	水産環境部ほか
R 4.12	播磨灘におけるイカナゴ個体群の産卵量指数の低下	日本水産学会誌 89(1), 15-21	魚住香織・西川哲也	水産環境部
R 4. 5	Effect of egg size on the growth rate and survival of wild walleye pollock <i>Gadus chalcogrammus</i> larvae	Fisheries Oceanography 31(3), 238-254	梶原慧太郎・中屋光裕・鈴木孝太・鹿野陽太・高津哲也	水産増殖部ほか
R 4.10	日本海西部海域に整備されたズワイガニ保護区の保護効果	水産工学 59(2), 109-118	田村一樹・三浦 浩・伊藤 靖	但馬水技ほか
R 5. 3	2022年に兵庫県津居山沖の底びき網に混獲されたダイオウイカについて	人と自然 33, 111-114	頼末武史・三橋弘宗・西田昭夫・大谷徹也・田村一樹・山中健志郎	但馬水技ほか

### (2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 4. 9	播磨灘におけるカイアシ類の種組成とバイオマスの季節変動	令和4年度日本水産学会秋季大会	西川哲也・渡辺 剛・田所和明	水産環境部ほか
R 5. 3	明石海峡周辺海域における冬季カイアシ類の動態	令和5年度日本水産学会春季大会	西川哲也・古澤一思・渡辺 剛・田所和明	水産環境部ほか
R 4. 9	播磨灘のイカナゴ産卵・夏眠場におけるオニオコゼの捕食生態	令和4年度日本水産学会秋季大会	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	近年の日本沿岸における赤潮：発生の特徴と新たな対策を考える 赤潮発生、予察、対策の現状 1) 瀬戸内海東部	令和5年度日本水産学会春季大会水産環境保全委員会企画シンポジウム	小川健太・秋山 諭・妹背秀和・高木秀蔵・嵐 俊右	水産環境部ほか

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 4. 9	養殖ノリを摂食するクロダイの行動特性	令和4年度日本水産学会秋季大会	高倉良太・谷田圭亮・水野愁太・稲崎 彩・光永 靖	水産増殖部ほか
R 5. 2	兵庫県の二枚貝養殖漁場における水質環境について	水産海洋学会地域研究集会 第3回 東部瀬戸内海研究集会	高倉良太	水産増殖部
R 5. 3	近年の日本沿岸における赤潮：発生の特徴と新たな対策を考える 赤潮発生、予察、対策の現状 4) 日本海西部	令和5年度日本水産学会春季大会水産環境保全委員会企画シンポジウム	鬼塚 剛・清川智之・鈴木雅巳・福本一彦・柿並宏明・坂本節子	但馬水技ほか

### (3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 7	兵庫県水産技術センターにおける水産教育の現状と課題	総合誌「瀬戸内海」84号	中桐 栄・堀 豊	水産環境部
R 4.10	兵庫県内海における2021年および2022年の漁況	第53回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議報告	西川哲也	水産環境部
R 5. 3	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 瀬戸内海東部海域	令和4年度漁場環境改善推進事業のうち「赤潮被害防止対策技術の開発」報告書	妹背秀和・肥後翔太・宮原一隆・小川健太・松下悠介・秋山 諭・辻村裕紀・近藤 健・高木秀蔵・乾 元気・嵐 俊右・朝田健斗・棚田教生	水産環境部ほか
R 5. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック令和4年度浅海定線観測等担当者会議議事録(抄)	肥後翔太 他38名	水産環境部
R 5. 3	食害魚の生態特性の解明と効率的な漁獲・防護技術の開発 ③食害魚の行動特性を利用した防除技術の開発	令和4年度養殖業成長産業化技術開発事業(5)地球温暖化に適応したノリ養殖技術の開発報告書	高倉良太・谷田圭亮・梶原慧太郎・光永 靖	水産増殖部ほか
R 5. 3	播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響の解明	令和4年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発(1)栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査報告書	高倉良太・岡本繁好・肥後翔太・原田和弘・宮原一隆	水産増殖部、水産環境部
R 5. 3	播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響の解明	平成30年度～令和4年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」事業成果ダイジェスト	高倉良太・岡本繁好・肥後翔太・原田和弘・宮原一隆	水産増殖部、水産環境部
R 5. 3	兵庫県におけるノリ養殖等の概況および試験研究項目	令和4年度瀬戸内海ブロック水産業関係試験研究推進会議藻類情報交換会資料集	谷田圭亮・岡本繁好	水産増殖部、水産環境部
R 5. 3	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 日本海西部海域	令和4年度漁場環境改善推進事業のうち「赤潮被害防止対策技術の開発」報告書	清川智之・谷口祐介・鈴木雅巳・福本一彦・前田啓助・柿並宏明・白木信彦・鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか

(4) 研究会（大会・研究会）等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 6	漁場の栄養塩類環境の現状と栄養塩類管理計画	兵庫県漁港漁場事業研修会資料	反田 實	
R 4. 6	きれいな海と豊かな海	朝日親と子の自然環境教室	反田 實	
R 4. 8	栄養塩類管理計画と明石海峡周辺漁場の栄養塩類環境	明石市議会	反田 實	
R 4. 8	豊かで美しい海を求めて	たつの市民大学「あかとんぼ学園」教養講座	反田 實	
R 4. 9	きれいな海と豊かな海	朝日親と子の自然環境教室	反田 實	
R 4. 11	兵庫県の漁業と漁場環境	兵庫県環境保全管理者協会研修会	反田 實	
R 4. 11	海域の貧栄養化と栄養塩類管理	兵庫県港友会	反田 實	
R 4. 11	豊かな海づくりの推進について	神戸大学・兵庫県農林水産部連携講義	反田 實	
R 4. 12	兵庫県海域におけるアナゴ類の情報	第 25 回アナゴ漁業資源研究会	反田 實	
R 5. 1	きれいで豊かな海づくり	二市二町議会環境保全協議会（加古川市、稲美町、播磨町、高砂市）	反田 實	
R 5. 2	兵庫県瀬戸内海の豊かな海づくり	日本技術士会兵庫県支部	反田 實	
R 5. 2	イカナゴ漁獲量の減少と貧栄養化	瀬戸内海環境保全知事・市長会議栄養塩類管理制度に係る意見交換ワーキング	反田 實	
R 4. 8	兵庫県播磨灘海域で麻痺性貝毒により毒化したマガキの減毒特性（出荷規制解除を独自検討するための科学的根拠）	マガキ生産者事前説明会	宮原一隆	水産環境部
R 4. 10	貝毒安全対策強化事業の進捗報告ー麻痺性貝毒により毒化したマガキの減毒特性に関する科学的検討ー	令和 4 年度兵庫県貝毒安全対策連絡協議会	宮原一隆	水産環境部
R 4. 12	兵庫県海域におけるマガキの出荷自主規制期間の独自設定	令和 4 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会研究発表会	宮原一隆・及川 寛	水産環境部ほか
R 4. 6	兵庫県の水産業にかかわる海の世界情報	コープとれびちサポーター（生活協同組合コープこうべ）	中桐 栄	水産環境部
R 4. 7	お魚を守りながらトル！	スマスイ・ラボ・スクール（神戸市立須磨海浜水族園）	中桐 栄・梶原慧太郎	水産環境部、水産増殖部
R 4. 8	兵庫県水産技術センターの仕事	コープトレジャー2022（生活協同組合コープこうべ）	中桐 栄	水産環境部
R 4. 11	What is 「豊かな海」未来につな GO! 水産業	地方事情御視察にかかる水産教室（神戸大学附属小学校）	中桐 栄・魚住香織・妹背秀和・堀 豊	水産環境部
R 5. 2	珪藻による養殖海苔の色落ち被害：瀬戸内海における <i>Eucampia zodiacus</i> を例に	第 31 回水圏生態系・古環境談話会	西川哲也	水産環境部
R 4. 8	2022 年漁期兵庫県イカナゴ漁について	水産資源調査・評価推進事業（イカナゴ瀬戸内海東部系群）に係る令和 4 年度第 1 回情報交換会	魚住香織	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 11	2022 年度のイカナゴ夏眠状況について	水産資源調査・評価推進事業（イカナゴ瀬戸内海東部系群）に係る令和4年度第2回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 5. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	令和5年フルセ操業関係組合代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	イカナゴ瀬戸内海東部系群の資源評価結果、本県の調査結果について	いかなご瀬戸内海東部系群に係る資源管理手法検討部会に向けた意見交換会	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和5年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果について	令和5年漁期第2回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	今漁期のフルセ操業について	令和5年フルセ操業関係組合代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和5年漁期第2回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	イカナゴ瀬戸内海東部系群資源評価結果、本県の調査結果について	いかなご瀬戸内海東部系群に係る資源管理手法検討部会に向けた意見交換会	魚住香織	水産環境部
R 5. 2	イカナゴ親魚に関する情報	明石浦漁業協同組合勉強会	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	兵庫県におけるタチウオ漁獲量等の経年推移（漁獲統計資料調査）	令和4年度タチウオ資源評価（中央・瀬戸内海合同）検討会	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和5年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和5年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 4. 7	須磨海岸実習（プランクトン採集、碎波帯ネットによる生物採集、採集物の観察）	地域課題ワークショップ（高校生サミット）	妹背秀和・肥後翔太	水産環境部
R 4. 12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	令和4年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会	妹背秀和	水産環境部
R 5. 1	R4年度ノリ漁期における <i>Eucampia zodiacus</i> の発生予測とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	妹背秀和	水産環境部
R 5. 2	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 瀬戸内海東部海域	令和4年度漁場環境改善推進事業のうち「赤潮被害防止対策技術の開発結果検討会	妹背秀和・肥後翔太・宮原一隆・小川健太・松下悠介・秋山 諭・辻村裕紀・近藤 健・高木秀蔵・乾 元気・嵐 俊右・朝田健斗・棚田教生	水産環境部ほか
R 4. 7	昨年度の種苗生産結果と今年度の対応	南あわじ漁協ワカメ種苗生産技術研修会	岡本繁好	水産環境部
R 5. 1	2022年の播磨灘の漁場環境	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	肥後翔太	水産環境部
R 4. 11	令和4年度漁期に向けての養殖管理	神戸市のり協議会 令和4年度海苔養殖漁期前研修会	高倉良太	水産増殖部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 11	突然変異育種による養殖ノリの高水温耐性品種作出	神戸市のり協議会 令和4年度海苔養殖漁期前研修会	谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 1	ノリの害対策研究について	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	谷田圭亮・高倉良太	水産増殖部
R 4. 9	魚類防疫地域合同検討会情報	瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	増田恵一	水産増殖部
R 4. 10	クロアワビ種苗生産におけるスクーティカの食害について	西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	増田恵一	水産増殖部
R 5. 2	兵庫県室津漁業協同組合におけるアサリ人工種苗生産と垂下養殖の現状と課題	令和4年度海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議	増田恵一	水産増殖部
R 4. 4	内水面漁業センターにおける令和3年度の研究成果と令和4年度の計画	内水面管理委員会	安信秀樹	内水面
R 4. 6	魚病に関する情報交換	令和4年度養鱒技術協議会魚病部会	安信秀樹	内水面
R 4. 7	サケ科魚類種卵種苗調査	令和4年度養鱒技術協議会	安信秀樹	内水面
R 4. 9	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移および高水温で発生した IHN	第36回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	安信秀樹	内水面
R 4. 12	高水温で発生した IHN	令和4年度魚病症例研究会	安信秀樹	内水面
R 4. 2	令和4年度のニジマス魚病発生状況・水産用医薬品の適正使用について	令和4年度ニジマス魚病防疫講習会	安信秀樹	内水面
R 4. 4	ズワイガニに関する試験研究と資源管理	香住ロータリークラブ例会	田村一樹	但馬水技
R 4. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	令和4年度ズワイガニ研究協議会	田村一樹	但馬水技
R 4. 9	兵庫・日本海の特産 ズワイガニとホタルイカのよもやま話	神戸常盤大学サイエンスカフェ	大谷徹也・田村一樹	但馬水技
R 4. 10	令和3年漁期のアカガレイ漁況と調査結果の概要	第12回日本海西部あかがれい・ずわいがに広域資源管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
R 5. 2	兵庫県但馬沖におけるベニズワイガニの漁獲と若齢個体の出現動向について	令和4年度日本海ブロック資源評価担当者会議	大谷徹也	但馬水技
R 5. 2	定線観測データからみた兵庫県但馬沿岸における冷水の勢力	令和4年度水産資源調査・評価等推進委託事業日本海ブロック資源評価担当者会議	鈴木雅巳	但馬水技
R 4. 9	香住で獲れるカニを活かす！	香美町ジオパーク推進協議会	中村 匠	但馬水技、北部農業・加工流通部

#### (5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 5 ～ R 5. 3	豊かな海を求めて～これまで、これから～全6回シリーズ	兵庫県水産振興基金(拓水787、789、791、793、795、797号)	反田 實	
R 5. 3	イカナゴの減少と貧栄養化	日本財団海洋政策研究所(Ocean News Letter 542)	反田 實	
R 4. 8	豊かな海を目指して～水産業を未来につなGO!～	兵庫県水産振興基金(拓水790号)	中桐 栄	水産環境部
R 4. 8	突然変異育種による養殖ノリの高水温耐性品種作出に向けた取り組み	兵庫県水産振興基金(拓水790号)	岡本繁好	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 6	今漁期の問題点と今後の対応(瀬戸内地区)	全国海苔貝類漁業協同組合連合会(海苔タイムス2424号)	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 10	来たる漁期の生産対策(瀬戸内地区)	全国海苔貝類漁業協同組合連合会(海苔タイムス2436号)	谷田圭亮	水産増殖部

#### (6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	堀部倭子	水産環境部
漁場環境情報	12	肥後翔太・妹背秀和	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果(播磨灘)	7	西川哲也	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果(大阪湾・紀伊水道)	3	魚住香織	水産環境部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	魚住香織	水産環境部
イカナゴシンコ漁況予報	1	魚住香織	水産環境部
水温観測情報	52	中桐 栄	水産環境部
貝毒情報	82	中桐 栄・妹背秀和	水産環境部
赤潮情報	21	妹背秀和・中桐 栄	水産環境部
ノリ養殖環境速報(播磨灘)	16	肥後翔太・妹背秀和・のり研究所	水産環境部、のり研究所
ノリ養殖環境速報(大阪湾)	6	谷田圭亮・高倉良太・中桐 栄・のり研究所	水産増殖部、水産環境部、のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・高倉良太・妹背秀和	水産増殖部、水産環境部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	38	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	43	鈴木雅巳・大谷徹也・田村一樹・齋藤公司	但馬水技、但馬水産事務所
貝毒情報	4	鈴木雅巳・大野泰史・井筒樹兵	但馬水技、但馬水産事務所
漁況速報	52	鈴木雅巳	但馬水技
イカ漁況日報	149	鈴木雅巳	但馬水技

#### (7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 12	特集 赤潮の発生シナリオと予察 瀬戸内海東部海域	株式会社緑書房(養殖ビジネス12月号第59巻第13号)	小川健太・秋山 諭・妹背秀和・高木秀蔵・嵐 俊右	水産環境部ほか
R 4. 12	特集 赤潮の発生シナリオと予察 日本海西部海域	株式会社緑書房(養殖ビジネス12月号第59巻第13号)	鬼塚 剛・清川智之・鈴木雅巳・福本一彦・柿並宏明・坂本節子	但馬水技ほか

#### (8) 技術書籍等

なし。

#### (9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 10	播磨灘のイカナゴなぜ大きい?動物プランクトン量に差	神戸新聞	西川哲也	水産環境部
R 4. 11	兵庫の海に理解深め豊かで美しい里海へ	水産経済新聞	西川哲也	水産環境部
R 4. 8	全国豊かな海づくり大会兵庫大会にむけて「豊かな海を目指す取組を高校生が取材」	神戸新聞	魚住香織	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 5. 1	イカナゴシンコ漁「今年も短縮を」	神戸新聞	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	みなとまちダイアリー「一目で分からない海の危機」	読売新聞	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	茶の間（イカナゴシンコ漁解禁と減少要因）	共同通信社 （北國新聞）	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	銀色に輝く春の使者（イカナゴシンコ漁解禁と減少要因、）	共同通信社 （京都新聞）	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	春の味覚、イカナゴ漁解禁（イカナゴシンコ漁解禁と減少要因）	共同通信社 （伊勢新聞）	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	墨魚点滴（イカナゴシンコ漁終漁と減少要因）	共同通信社 （伊勢新聞）	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	春の水産物が軒並み不漁・・・ホタルイカ激減、マイワシ豊漁の余波か（イカナゴシンコ漁終漁と減少要因）	産経新聞	魚住香織	水産環境部
R 5. 4	里へ～人と自然のものがたり～〈13〉水揚げ回復へ我慢の春（イカナゴのシンコ漁）	神戸新聞	魚住香織	水産環境部
R 4. 11	「全国豊かな海づくり大会」終了、訴えたいことは 地元漁業に興味持って クロダイ消費でノリ食害軽減を	神戸新聞	高倉良太	水産増殖部
R 5. 1	風と水と土と ひょうごテロワール 16「ノリ」	神戸新聞	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部

#### (10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 11	全国豊かな海づくり大会兵庫大会	NHK	水産技術センター	水産環境部、 水産増殖部
R 4. 11	皇室ご一家 第41回全国豊かな海づくり大会	フジテレビ	水産技術センター	水産環境部、 水産増殖部
R 4. 12	皇室アルバム 第41回全国豊かな海づくり大会	毎日放送	水産技術センター	水産環境部、 水産増殖部
R 5. 2	2023年皇室秘蔵スペシャル	BS-TBS	中桐 栄	水産環境部
R 4. 10	ダーウィンが来た！「海を支える“砂の魚” 珍ライフ」イカナゴ	NHK	反田 實・西川哲也・ 魚住香織・高倉良太	水産環境部、 水産増殖部
R 5. 2	イカナゴシンコ漁の予報	サンテレビ	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	「おはよう関西」イカナゴシンコ漁と減少要因	NHK	魚住香織	水産環境部
R 5. 3	「おはよう朝日」イカナゴシンコ漁と減少要因	ABC	魚住香織	水産環境部
R 4. 6	ザ！鉄腕！DASH!!～海の森は復活できるか？～	日本テレビ	谷田圭亮	水産増殖部

#### (11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 4	日本バイオロギング研究会会報 No. 188 調査報告「黒幕を追え!!ノリ養殖現場 24 時 Season II」	日本バイオロギング研究会	高倉良太	水産増殖部
R 5. 3	サカナ新時代～「またバリカンや…」収穫前の養殖ノリ、食い荒らすギャング魚	毎日新聞デジタル	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 3	サカナ新時代～唯一残った「エース」が決め手 1台10万円の発信器、次々途絶え…	毎日新聞デジタル	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 3	サカナ新時代～「ランチ」目当てに規則正しく浮上 旺盛な食欲で養殖ノリ根こそぎ	毎日新聞デジタル	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 3	サカナ新時代～「腹パンパンや」1匹で板ノリ3枚分以上も 一網打尽の妙案なく	毎日新聞デジタル	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部
R 5. 3	サカナ新時代～好物減り続け、ノリに群がる？クロダイ教授「海の変化考える材料」	毎日新聞デジタル	高倉良太・谷田圭亮	水産増殖部

### 3 見学会及び研究発表会

#### (1) 見学会

なし。

#### (2) 研究発表会

##### ア 日時

令和4年9月16日14時～16時

##### イ 場所

2F 大研修室

##### ウ 課題

大型動物プランクトン（カイアシ類）から見た瀬戸内海の海洋生態系

（発表者：水産技術センター水産環境部 首席研究員 西川哲也）

播磨灘の養殖マガキを対象とした出荷自主規制期間の短縮は可能か？

（発表者：水産技術センター水産環境部 首席研究員兼課長 宮原一隆）

活気あるベニズワイガニかご漁業を続けていくために

（発表者：但馬地区漁協青壮年部連合会 会長 伊藤清彦）

ズワイガニ保護区内外でのかにかご調査

（発表者：但馬水産技術センター 研究員 田村一樹）

### 4 特許・実用新案出願・登録状況

#### 【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	

#### 発明（出願特許）の概要

発 明 の 名 称	発 明 の 概 要
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引かせる湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。

### 5 学位・表彰等

◎ 表 彰 名 水産功績者表彰（一般社団法人日本水産会）

業 績 名 豊かな瀬戸内海再生への貢献と水産業の振興及び発展

受賞者氏名 反田 實

表 彰 日 令和4年10月19日

## 6 研究員の派遣

なし。

## 7 研修生・見学者の受け入れ

### (1) 一般研修生の受け入れ

団体又は組織	人数	研修課題	期間	受け入れ部門
静岡県水産資源課・静岡県漁連	6名	閉鎖性循環水槽視察	R4. 12. 12	水産環境部、 水産増殖部
コープトレジャー2022（生活協同組合コープこうべ）	20名	兵庫県水産技術センターの仕事	R4. 8. 11	水産環境部
兵庫県漁業協同組合連合会	4名	資源評価・資源管理にかかる勉強会	R4. 10. 27	水産環境部
養父市立広谷小学校	23名	環境体験学習	R4. 6. 20	内水面
朝来市立中川こども園	21名	環境体験学習	R4. 6. 29	内水面
太子町消費者協会	11名	環境体験学習	R4. 7. 12	内水面
朝来市立山口小学校	48名	環境体験学習	R4. 7. 25	内水面
朝来市立枚田小学校	1名	社会体験研修	R4. 8. 1	内水面
朝来市ルーチェの会	14名	環境体験学習	R4. 8. 1	内水面
朝来市かのんデイサービス	14名	環境体験学習	R4. 8. 23	内水面
但馬やまびこの郷	14名	社会体験研修	R4. 9. 6	内水面
朝来市立大蔵小学校	17名	採卵実習	R4. 10. 20	内水面
加工業者	2名	カニ身乾燥	R4. 4. 4 ～ 4. 5	但馬水技 (加工実験棟)
加工業者、豊岡農業改良普及センター	3名	干しぶどう加工	R4. 4. 7	但馬水技（現地）
但馬水産事務所	5名	ムラサキウニ蓄養	R4. 4. 24 ～ 4. 26	但馬水技 (加工実験棟、利用 加工研究室)
但馬水産事務所	1名	データロガーの使用法	R4. 4. 26	但馬水技 (現地)
神戸市漁業協同組合	2名	グレーズ処理	R4. 5. 19	但馬水技 (現地)
東洋食品工業短期大学	3名	ホタルイカ茹で加工	R4. 6. 4	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	4名	ムラサキウニ可食部採取方法	R4. 6. 16	但馬水技 (生物測定室)
全国豊かな海づくり大会推進室	2名	スサビノリ乾燥標本作製	R4. 6. 23 ～ 6. 24	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	1名	データロガーの使用法	R4. 7. 8	但馬水技 (現地)
福井県立大学	1名	ホタルイカ茹で、干し、調味加工	R4. 8. 30	但馬水技 (加工実験棟)
吉備国際大学	13名	ホタルイカ茹で、干し、調味加工	R4. 9. 13 ～ 9. 14	但馬水技 (現地)
吉備国際大学	11名	マダイ開き干し、ニギス練り製品	R4. 9. 14 ～ 9. 15	但馬水技 (現地)
吉備国際大学	11名	水産加工品品質評価	R4. 9. 13 ～ 9. 15	但馬水技 (現地)
加工業者	1名	ゆでがきの採肉方法	R4. 10. 21	但馬水技 (加工実験棟)
但馬漁業協同組合	7名	ノロゲンゲ干製品加工	R4. 11. 1	但馬水技 (加工実験棟)

団体又は組織	人数	研修課題	期間	受け入れ部門
総合センターほか	2名	普及指導員技術強化Ⅱ研修	R4. 11. 1	但馬水技 (技術研修室、加工 実験棟)
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所	5名	ベニズワイガニ冷凍保蔵	R4. 12. 12	但馬水技 (加工実験棟)
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所	18名	ベニズワイガニ冷凍保蔵・品質評価	R5. 1. 16 ～ 1. 18	但馬水技 (加工実験棟、利用 加工研究室、現地)
但馬漁業協同組合	3名	魚せんべい加工	R5. 1. 20	但馬水技 (加工実験棟)
一宮町漁業協同組合	1名	スダレガイ蓄養	R5. 1. 23、 1. 26	但馬水技 (現地)
機械業者	1名	ズワイガニ蓄養水の水質改善	R5. 1. 23	但馬水技 (現地)
浜坂漁業協同組合、但馬水産 事務所	4名	ウニ醤油加工	R5. 1. 24	但馬水技 (利用加工研究室、 加工実験棟)
兵庫県漁業協同組合連合会 但馬支所、但馬水産事務所	8名	ベニズワイガニ冷凍保蔵・品質評価	R5. 2. 7 ～ 2. 9	但馬水技 (現地)

## (2) トライやる・ウィーク体験事業

学校名	研修課題	期間	受け入れ部門
朝来市立朝来中学校 4名	飼育水槽・人工河川・取水柵の掃除、飼育魚への給餌、解剖実習	R4. 5. 30 ～ 6. 3	内水面

## (3) 高等学校探究課題への協力

学校名	研修課題	期間	受け入れ部門
県立東播磨高校 2名	瀬戸内海の漁業について	R4. 8. 10	水産環境部
県立赤穂高校 7名	兵庫県のマガキ養殖について、図書「サイエンスライティング超入門」の紹介	R4. 11. 22	水産増殖部、 水産環境部

## (4) 受託研修・国際課からの依頼による研修の受け入れ

なし。

(5) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 4. 4	2	7	0	7		0
5	5	29	0	17		12
6	6	453	3	425		25
7	12	190	0	181		9
8	21	220	0	55		165
9	12	388	0	385		3
10	16	975	0	975		0
11	12	598	0	328	24	246
12	6	244	38	197	4	5
R 5. 1	4	2	0	2		0
2	3	52	0	52		0
3	2	4	0	0		4
合計	101	3,162	41	2,624	28	469

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 4. 4	8	33	0	0	0	33
5	6	19	1	0	0	18
6	5	6	0	0	0	6
7	7	12	2	0	0	10
8	13	42	0	0	0	42
9	12	18	0	2	0	16
10	5	7	1	0	0	6
11	6	16	2	0	1	13
12	3	8	0	0	0	8
R 5. 1	3	7	2	0	3	4
2	5	6	0	0	0	6
3	11	40	0	0	2	38
合計	84	214	8	0	6	200

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 4. 4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	1	67	0	67	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
R 5. 1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	1	67	0	67	0	0

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 4. 4	19	21	6	0	12	3
5	19	19	6	0	10	3
6	28	30	9	3	11	7
7	15	19	2	0	13	4
8	22	23	11	1	6	5
9	21	22	12	0	7	3
10	12	13	2	0	6	5
11	27	28	10	0	11	7
12	28	30	12	0	12	6
R 5. 1	35	37	9	0	17	11
2	15	17	9	0	6	2
3	8	8	4	0	2	2
合計	249	267	92	4	113	58

(加工相談のうち来訪分)

## 8 資格・認定研修への講師派遣

### (1) 水産加工食品製造業技能評価試験への試験官派遣

主催者：全国水産加工業協同組合連合会

試験官（所属）：森 俊郎（但馬水産技術センター）

## 9 天皇皇后両陛下の水産技術センター御視察（第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会）

### (1) 日時

令和4年11月13日（日曜日） 15:38～16:50

### (2) 場所

水産技術センターエントランスホール、閉鎖循環飼育システム（生物実験棟）、視聴覚教育室

### (3) 内容

#### ア エントランスホール（説明：所長）

エントランスホールにて見学用展示品（豊かな海関連）及び研究成果パネルの説明。

#### イ 閉鎖循環飼育システム（説明：水産増殖部長）

生物実験棟1Fの閉鎖循環飼育システムで研究を進めているニジマス養殖の説明。

#### ウ 視聴覚教育室（水産教室講師：水産業専門技術員）

小学生を対象とした水産教室（水産資源の説明、底生生物観察、プランクトン検鏡実習）を御覧になる。

## 10 その他（出版物等）

- ・令和3年度 兵庫県農林水産技術総合センター年報（水産編）